

# 学習課題(小学校3年生)



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

## <学習内容>

◆「漢字の広場4」（教科書④40 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書に書かれている漢字を音読しましょう。
- (2) 〈れい〉をさん考に、町の様子をせつめいする文を書きましょう。  
 ※40 ページにのっている言葉を、全部使いましょう。  
 ※一つの文に、40 ページに出ている言葉を二つ以上使ってもよいです。

◆「すがたをかえる大豆」（教科書④42～49 ページ）に取り組みます。

**注目！**



今回は、「食べ物のひみつを教えます」（教科書下51 ページ）を学習します。この学習では、食べ物について調べて、せつめいする文章を書きます。その時に生かせるよう、せつめいする文章の、れいの書き方などについて、「すがたをかえる大豆」で学びましょう。

（この説明文は、全部で8段落<sup>だん</sup>まであります）

- (1) 全文を音読しましょう。
- (2) 8つの段落を「はじめ」「中」「終わり」に分けましょう。  
 （ヒント…この文章では、5つの段落が「中」になります）



「はじめ」…これからせつめいする話題を、おおまかにせつめいしています。  
 「中」…「はじめ」にしめた話題について、具体的なれいをあげて、せつめいしています。  
 「終わり」…全体をまとめています。

- (3) 筆者が、「中」であげている具体的な例、「つなぎ言葉（『まず』『そして』『さいごに』など）」「おいしく食べる工夫」「食品」をノートに整理しましょう。（※つなぎ言葉は、次回、自分の文章を書く時にも、大切なポイントとなります。）

○段落	○段落	○段落	○段落	○段落	(れい) ○段落	段落
					はじめに	つなぎ言葉
					こなにひいて水とまぜ、火にかける。	おいしく食べる工夫
					とうにゅう 豆乳	食品

## 整理の例

- (4) 「いる」「にる」など、大豆に手をくわえるときの言葉の意味を国語辞典でたしかめ、ノートや取組シートに書きましょう。

- (5) この文章には、「はじめ」の部分に『問い』（なぜ～でしょうか、など）がありません。入れるとしたら、何段落のさい後に、どんな文を入れるとよいでしょうか。自分で考えた問いの文を、ノートや取組シートに書きましょう。
- (6) 「中」の書かれ方について考えます。筆者は5つの段落をなぜこのじゅんじょでしようかと思いましたか。自分の考えをノートや取組シートに書きましょう。**（※筆者がこのじゅんじょにした理由を考えることは、自分の文章を書く時にも生かれますね。）**

※ 次回までに、おうちにある食べ物についての本をじゅんびしておきましょう（おうちに本がない場合は、図書館などで食べ物の本をかりるといいです）。

◆教科書④41～47 ページで学習する新出漢字（「豆」～「畑」）を練習します。

- (1) 154 ページを見て、ひつじゅんを指で書いておぼえましょう。
- (2) 読み方、使い方を声に出して言ってみましょう。
- (3) 出てきた漢字を使って、文を作り、ノートや取組シートに書きましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「漢字の広場」に登場する漢字は、2年生までに習った漢字となります。取組の様子から、「漢字を正しく書けているね。」「絵の様子を詳しく説明した文だね。」など、具体的に頑張りを認めてあげてください。
- ・「すがたをかえる大豆」は、例の書かれ方や順序に気を付けて読む学習です。「中」は黒豆、きなこ、豆腐…という順序で書かれていますが、「お母さんは味噌汁が大好きだから、お母さんだったら味噌のことを紹介している6段落目を『中』のはじめにしたいけど、どうかな？」などと問いかけてみることで、お子さんに段落の順序に対する問題意識が生まれます。
- ・次回の学習（「食べ物のひみつを教えます」）では、今回の学習を基に、姿を変えて食品になる材料について説明する文章を書きます。もし可能であれば、図書館を利用するなど、事前に本の準備をお願いします。